

極秘

ナ

真言本

only for adult

R-18

凡々亭H樂膳

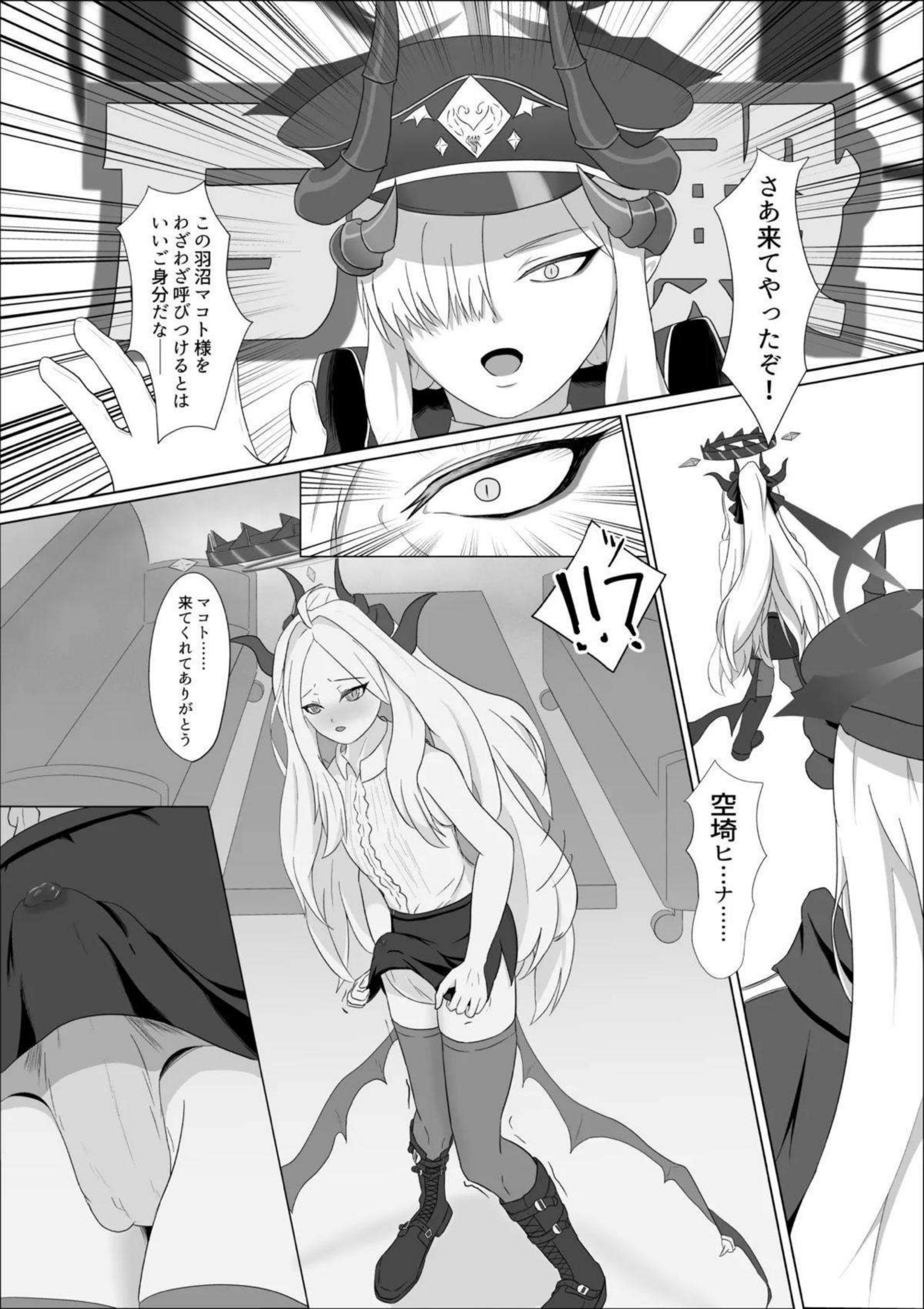


とある夜
ゲヘナ学園・部室棟にて――

キキキツ……

いい度胸じゃないか……!

こんなところまで
お呼び出しとは



さあ来てやったぞ!

この羽沼マコト様を
わざわざ呼びつけるとは
いいご身分だな

マコト……
来てくれてありがとう

空崎ヒ……ナ……

!!7!!



何イ——!?

おまえ、それは——

雷帝の遺産の影響よ

——ッ!

少し前に列車砲の処理
をしたでしょう?
きつとその時ね……



……そうか

なるほどな……
それで
秘匿回線を……



体調に問題は?

これ以外
には特に……

知っているのは?

私たちだけ
だから……



これ
どうにかするの手伝って……?

以前の遺産処理の時も
こういうこと、あったでしょ?



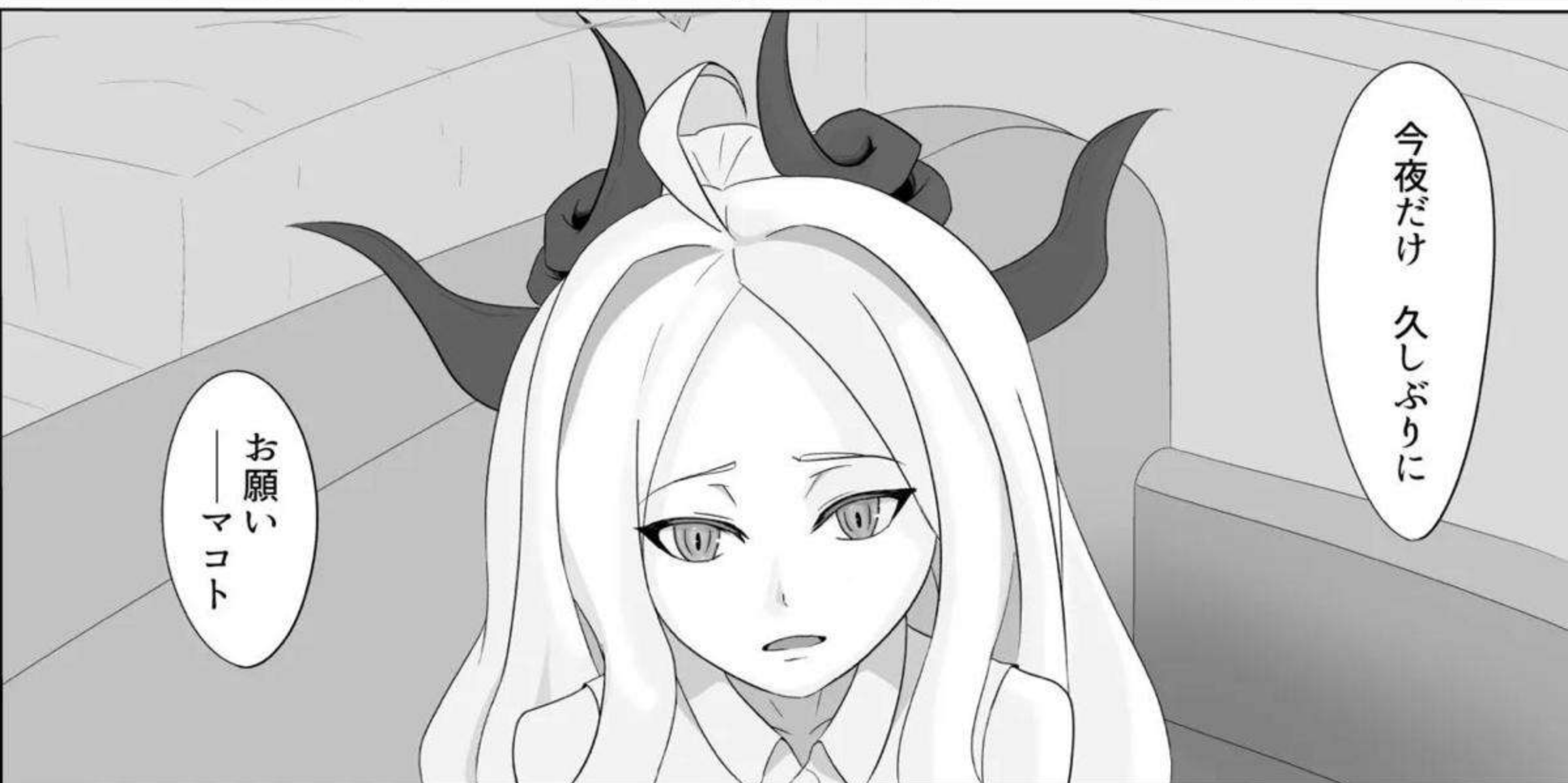
でもこんなことに
先生を巻き込めない

もちろん後輩たちも



ヒナ
立場を理解しているのか？

私は万魔殿
お前は風紀委員会
相容れないと
分かっているはずだ



今夜だけ 久しぶりに

お願い
——マコト



くっ……

お前が…そこまで
頼み込むというなら

まあ……
少し、くらいなら……

ありがとう



むグッ……!!

ちゅ♡



パシッ

ちゅ♡

マコト マコト……

ちゅ♡

待つ ヒナ……!!

ちゅ♡



少し……ぷあっ
落ち着っ……んっ……!!

口 開けて……



ちゅ♡



角が擦れるわ…

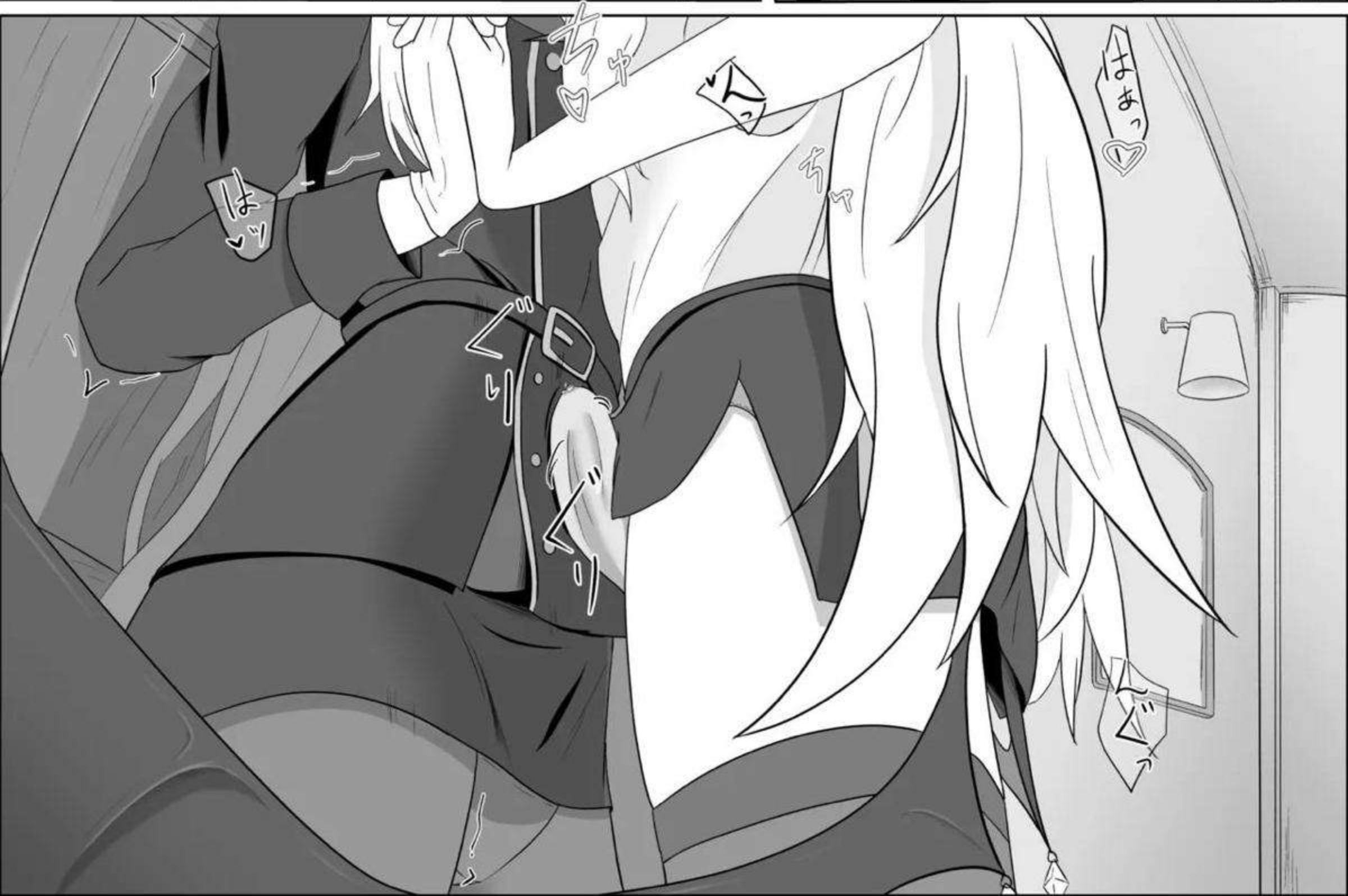
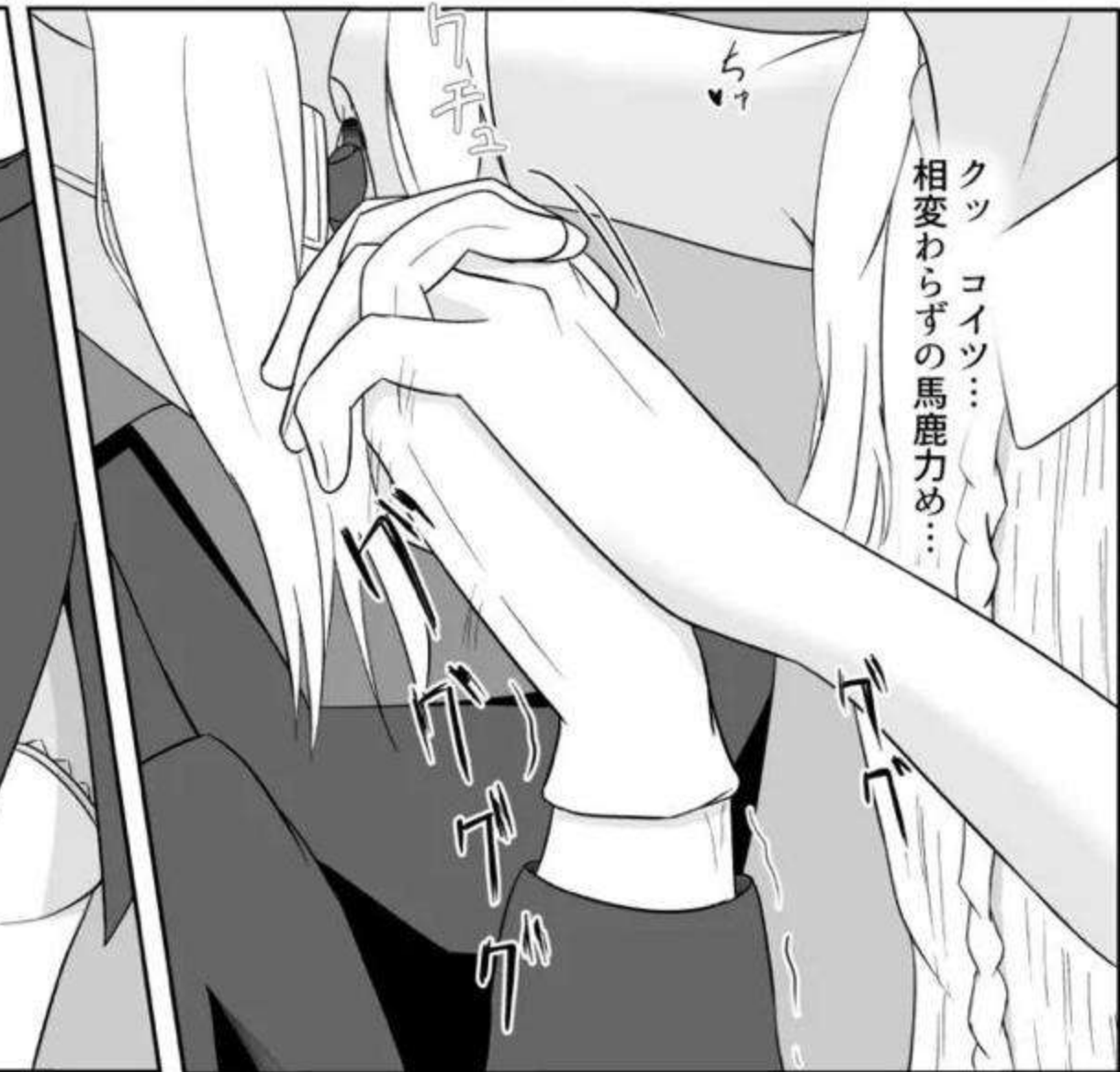
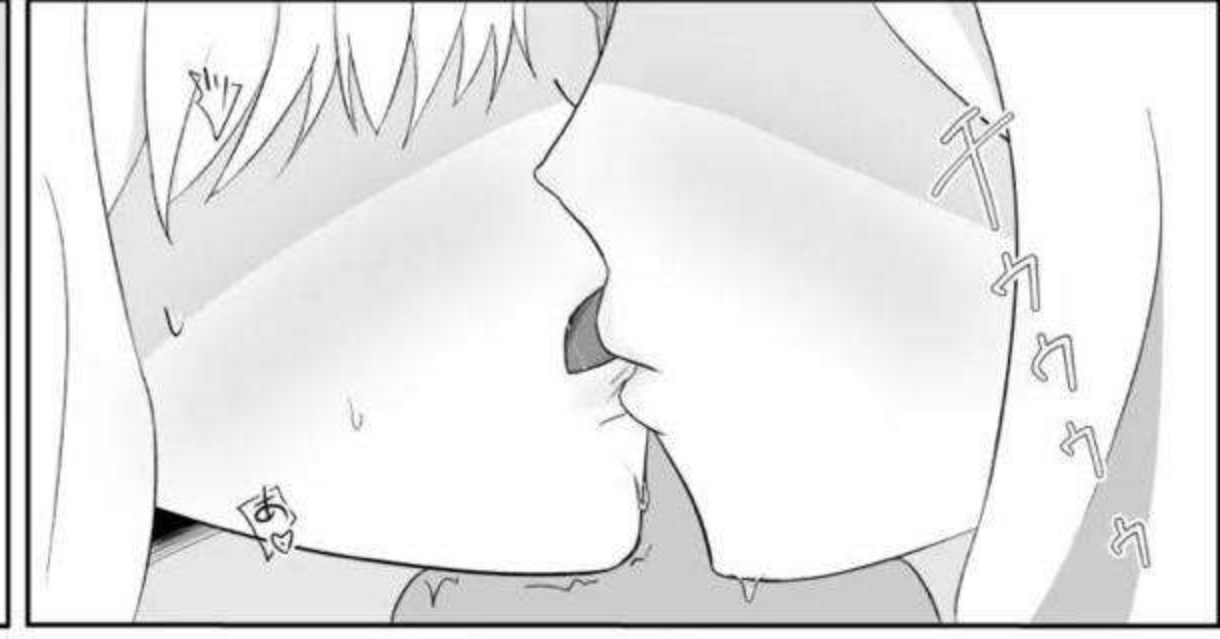
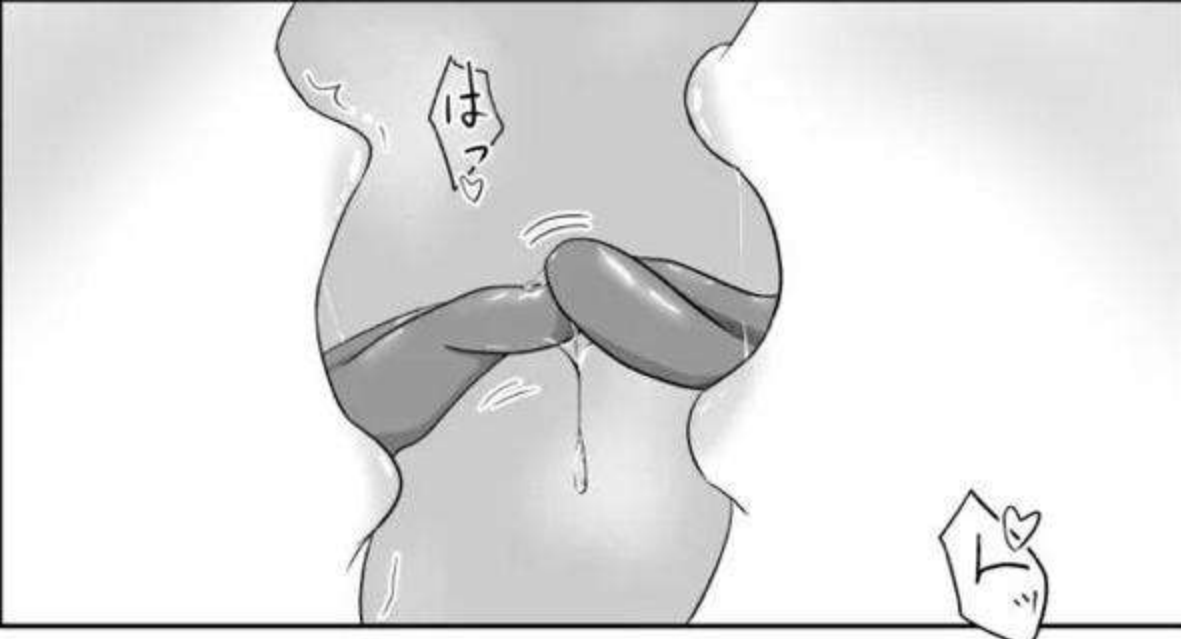
なら擦りつけるのを
やめろ…！

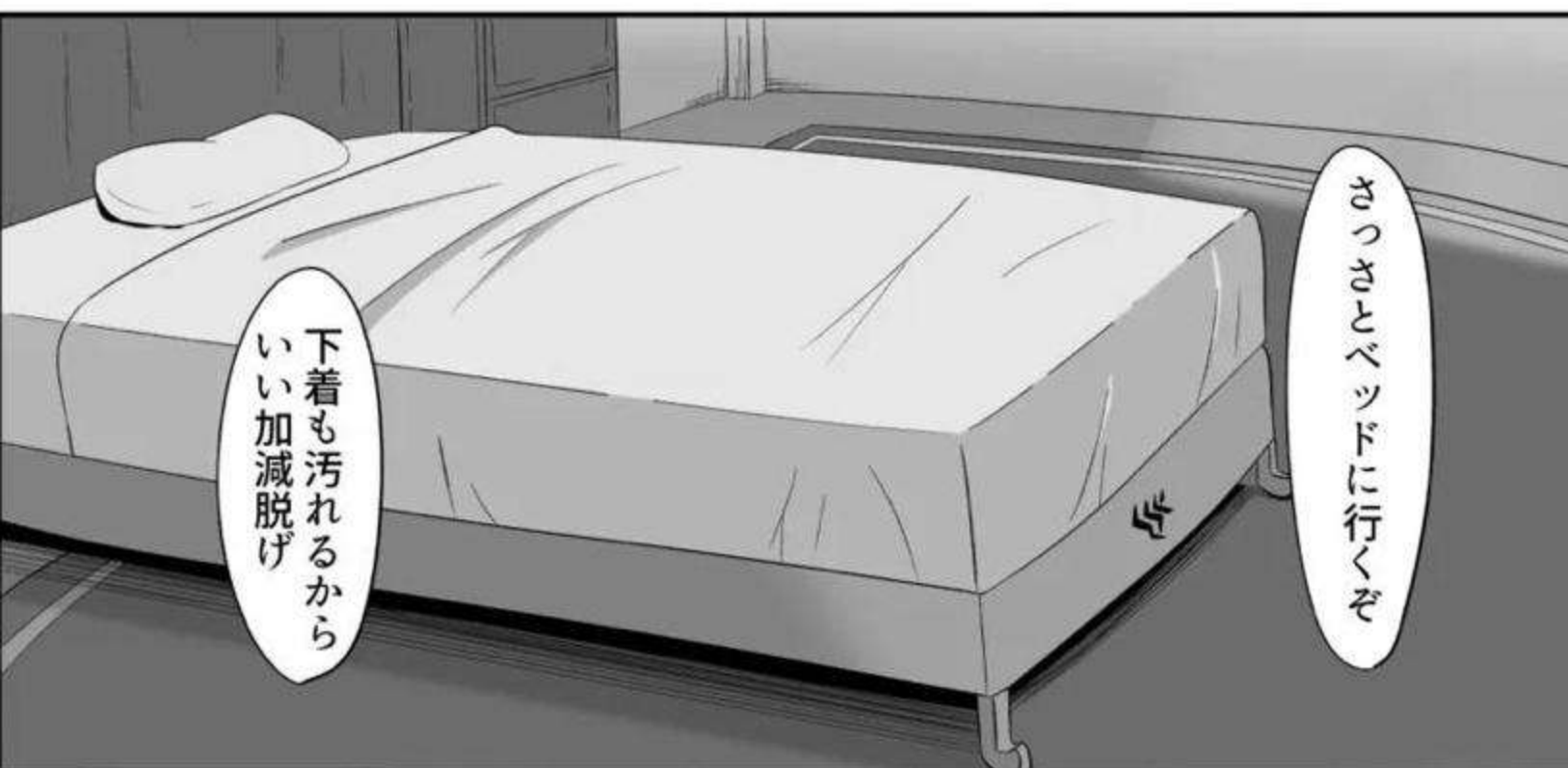
イヤ
だって気持ちいいもの

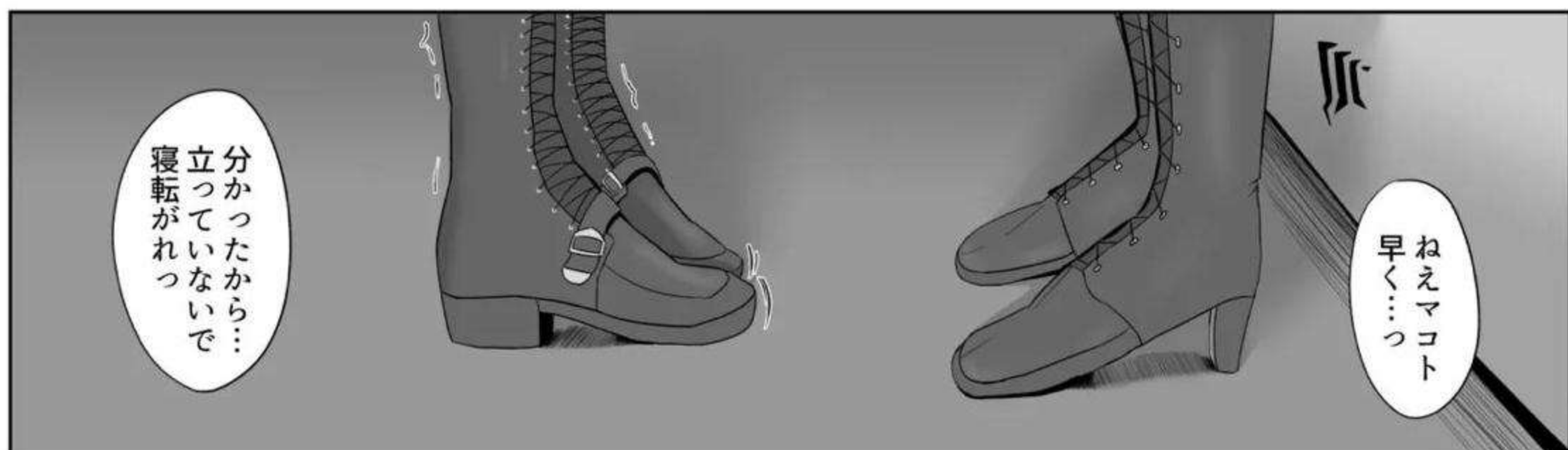
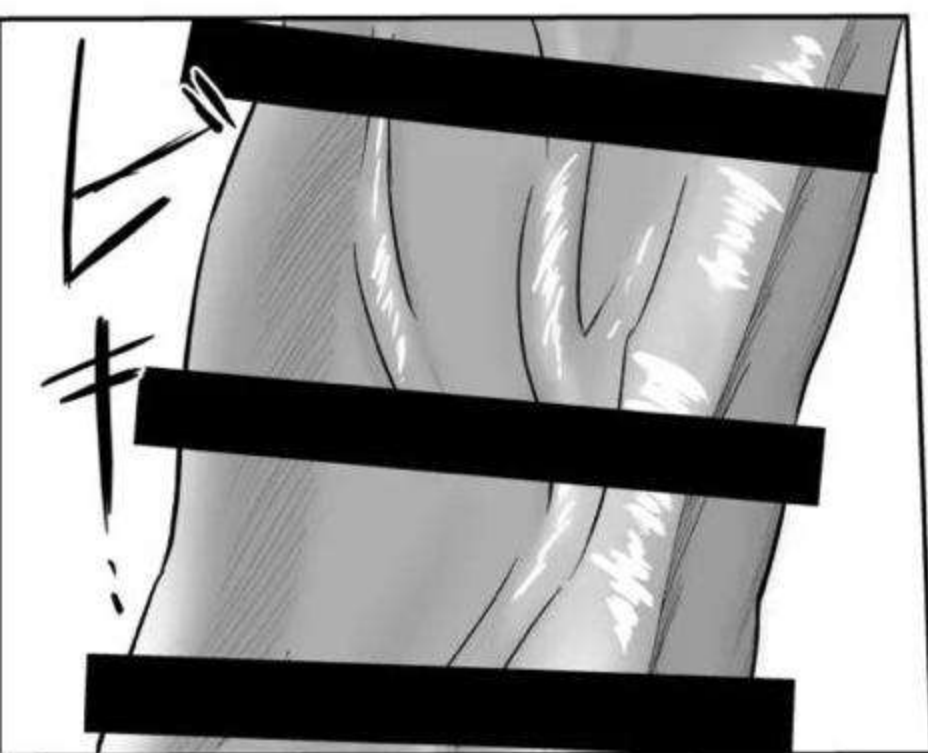
お前の好みは
…よくわからん

……もういい

ほらまた口を開けなさい







雷帝の残した
忌まわしきものに――

あ、待って♡

緒にしちゃ

十カ

その力の強さ故か

ヒナはよく
中てられる

そうすると男性器が生えて
欲求が高まり続ける

何度かの検証の結果
射精を繰り返すしか
解決方法はないと分かった

極秘任務の中での
極秘の異常発生

結局これは
二人の間だけの
極秘の習慣となった

マコト♡

それ♡
ダメ♡

♡チユ♡

♡チユ♡

♡チユ♡

♡チユ♡

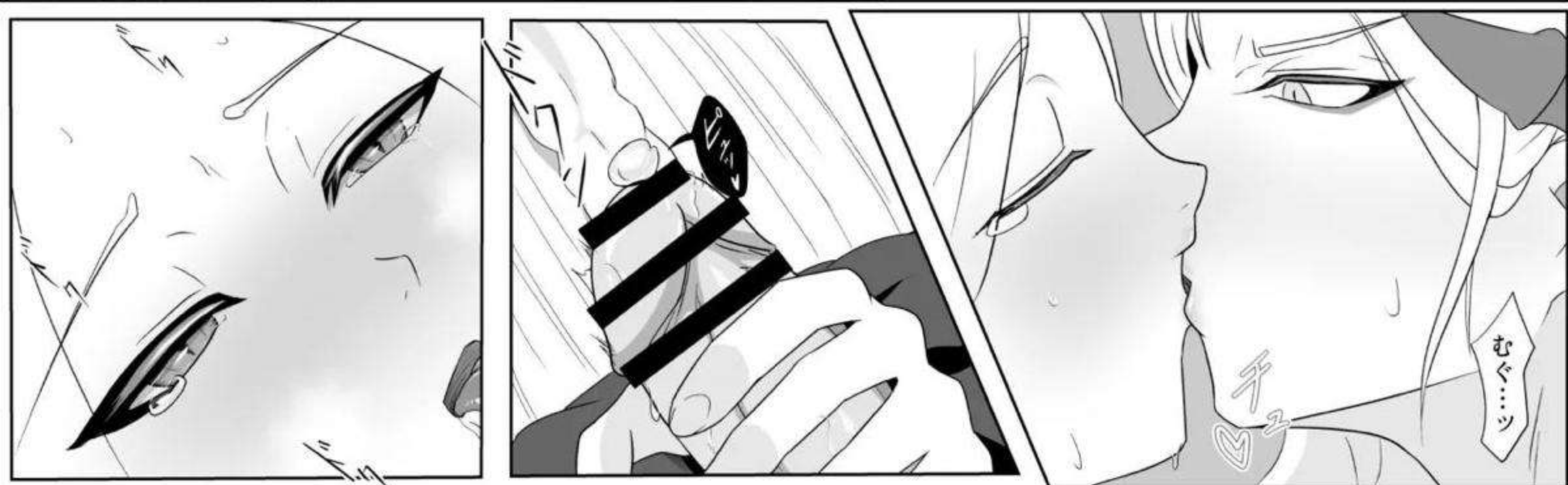
♡チユ♡

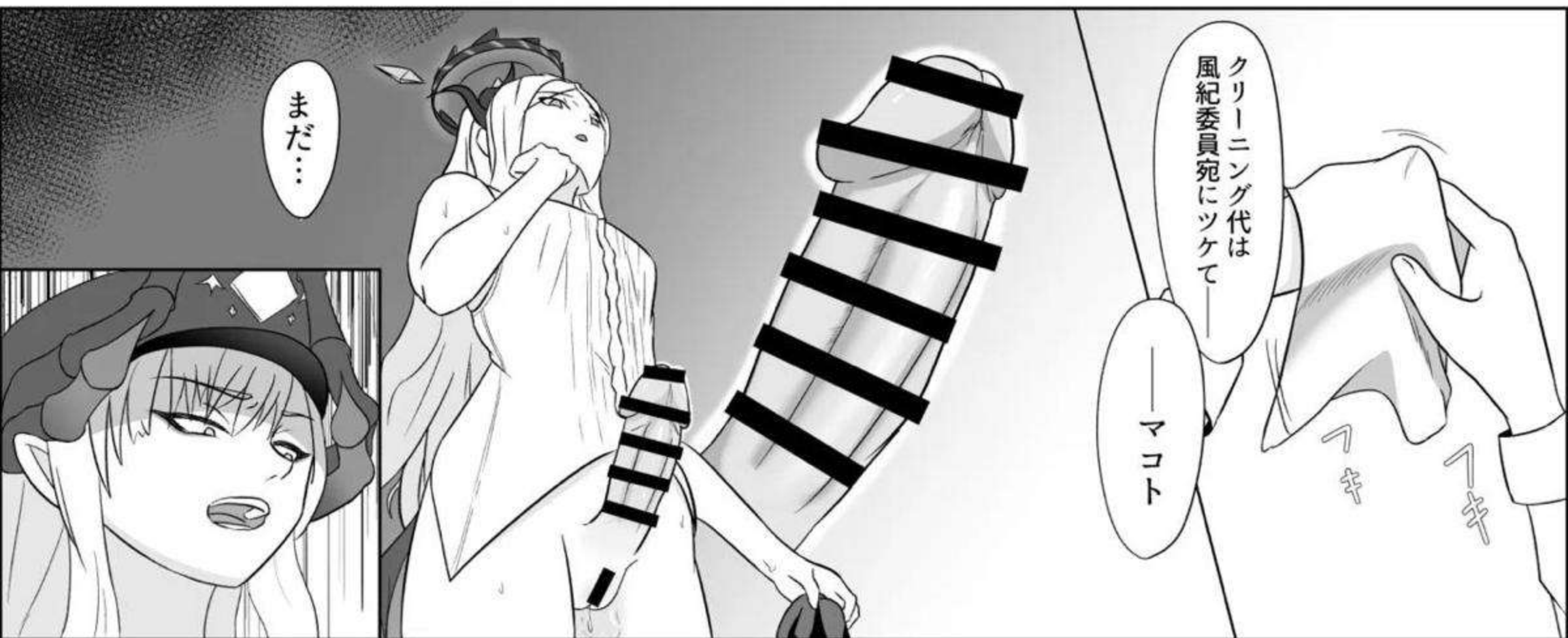
♡チユ♡

ヒナが一人で
処理できなくなれば
私が極秘で協力する

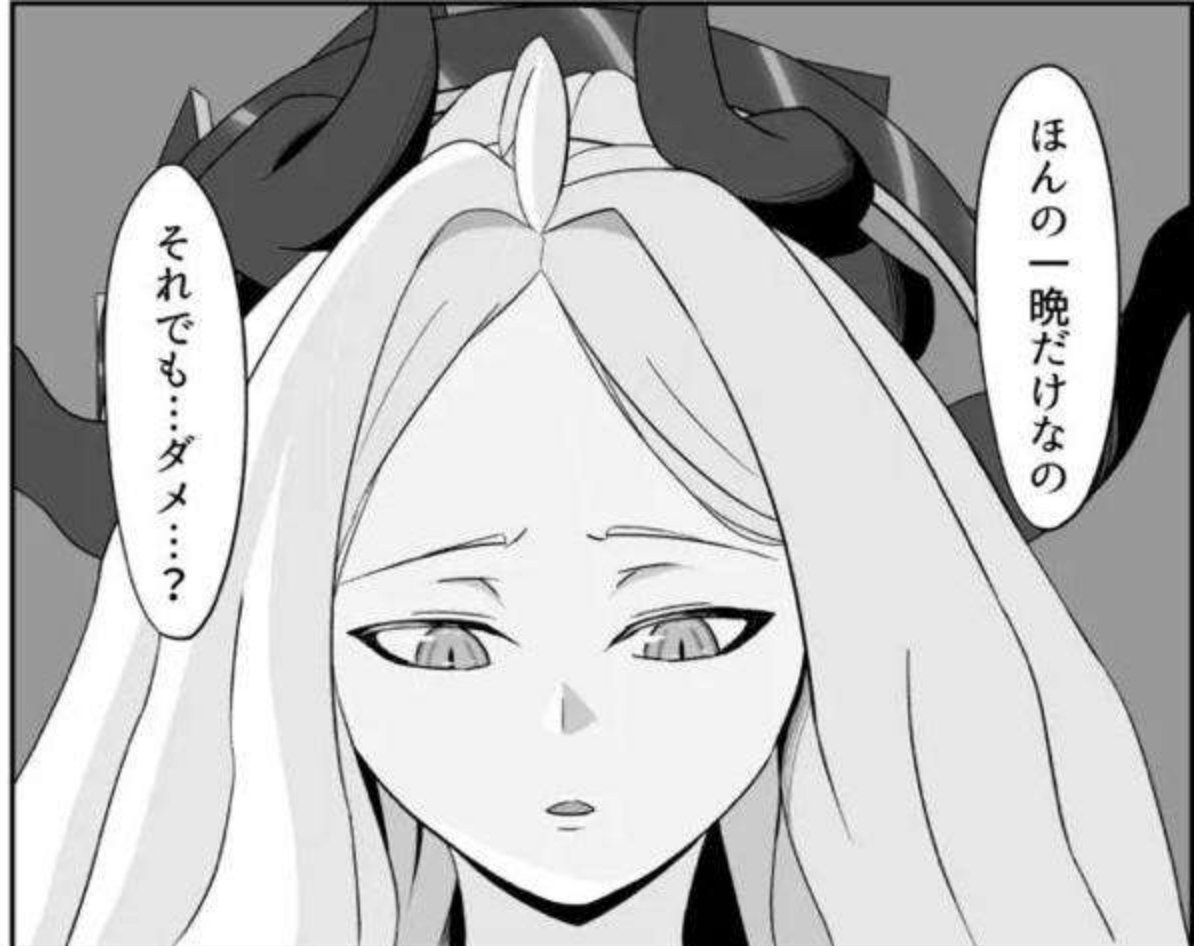
♡チユ♡

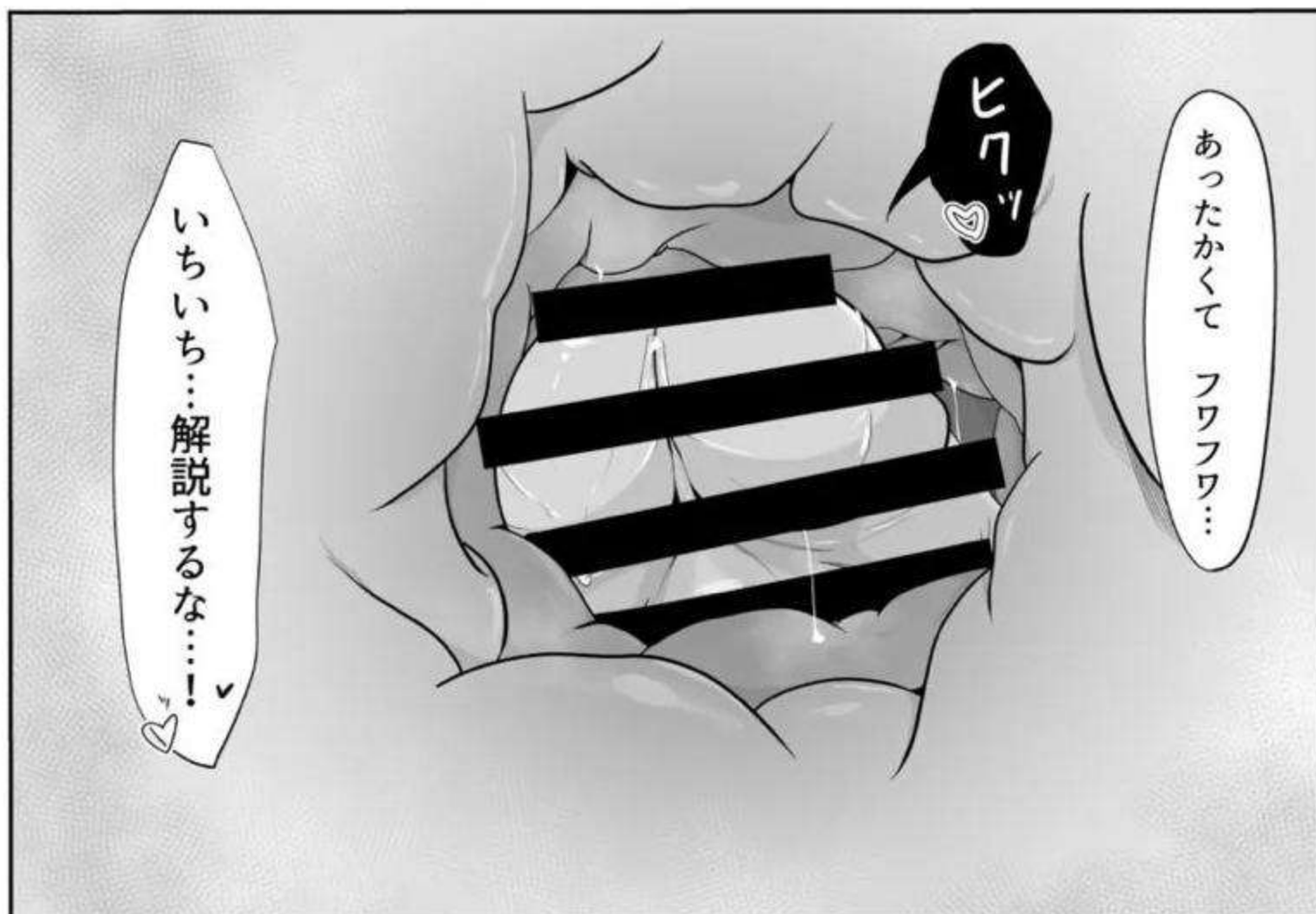
全く忌まわしい…



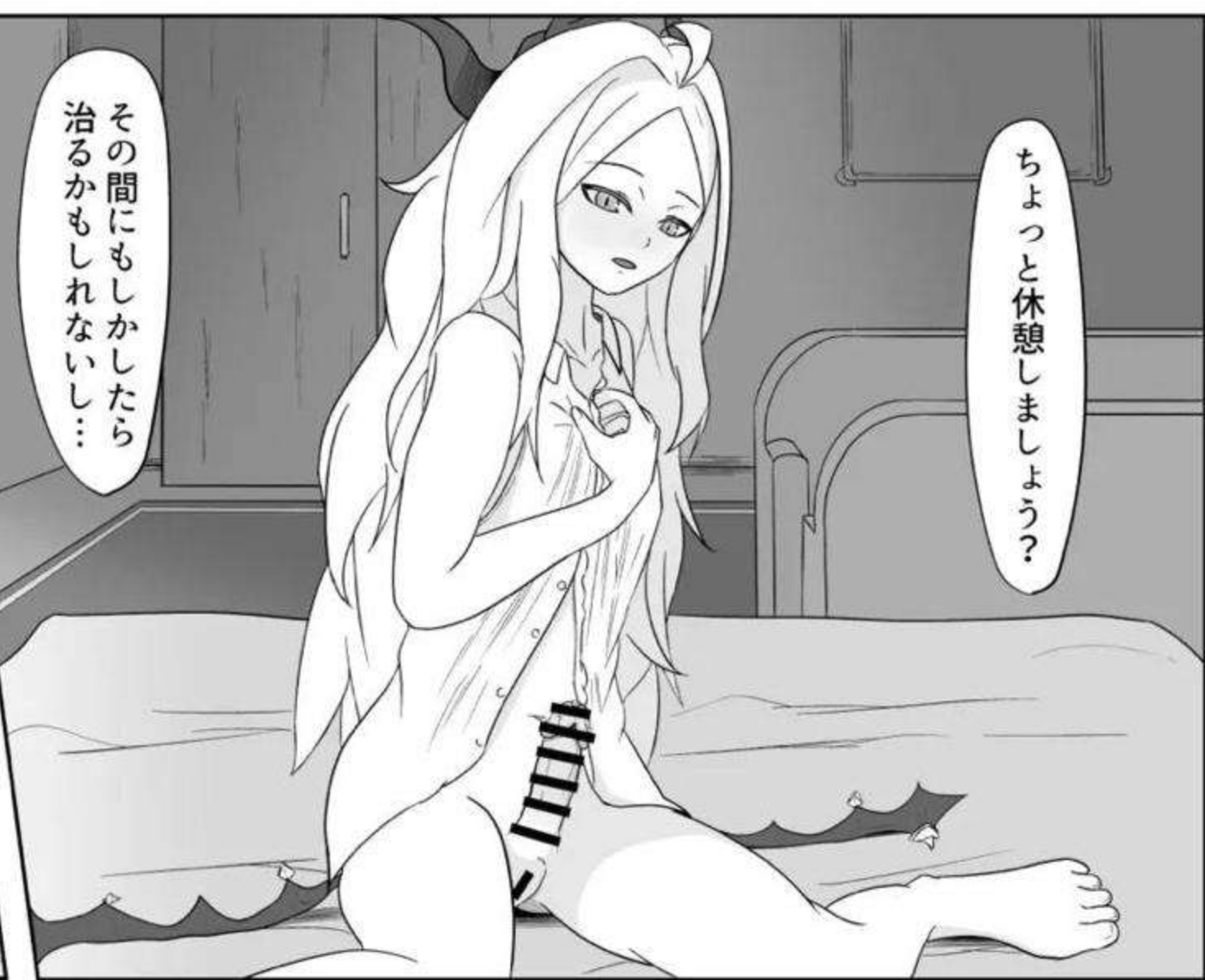
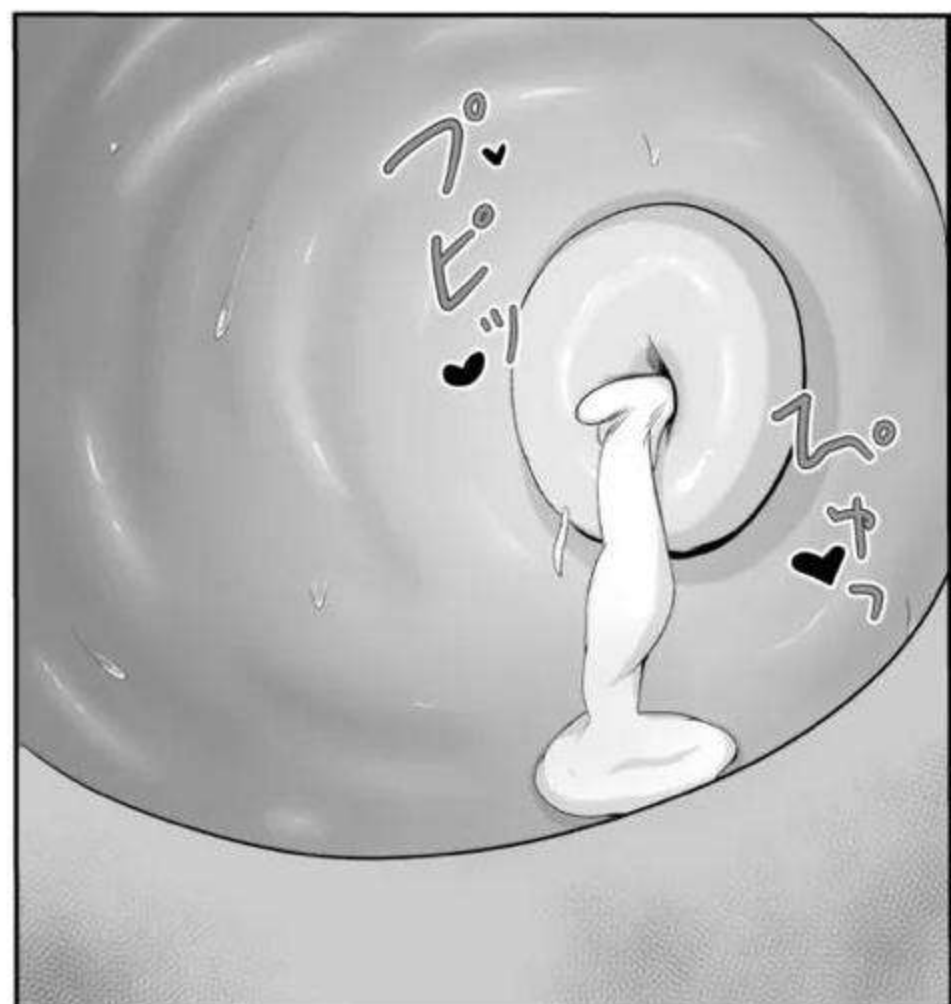
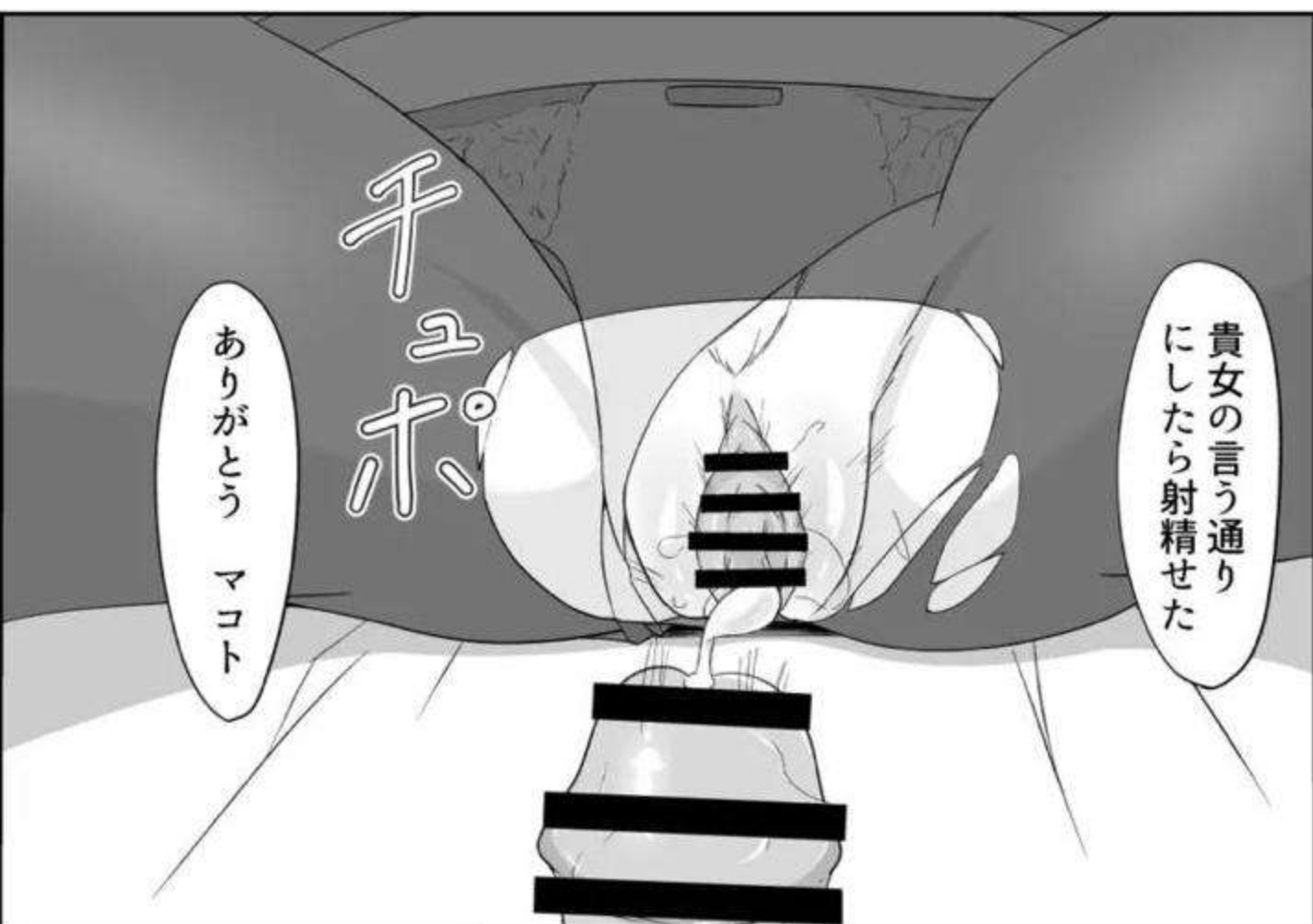












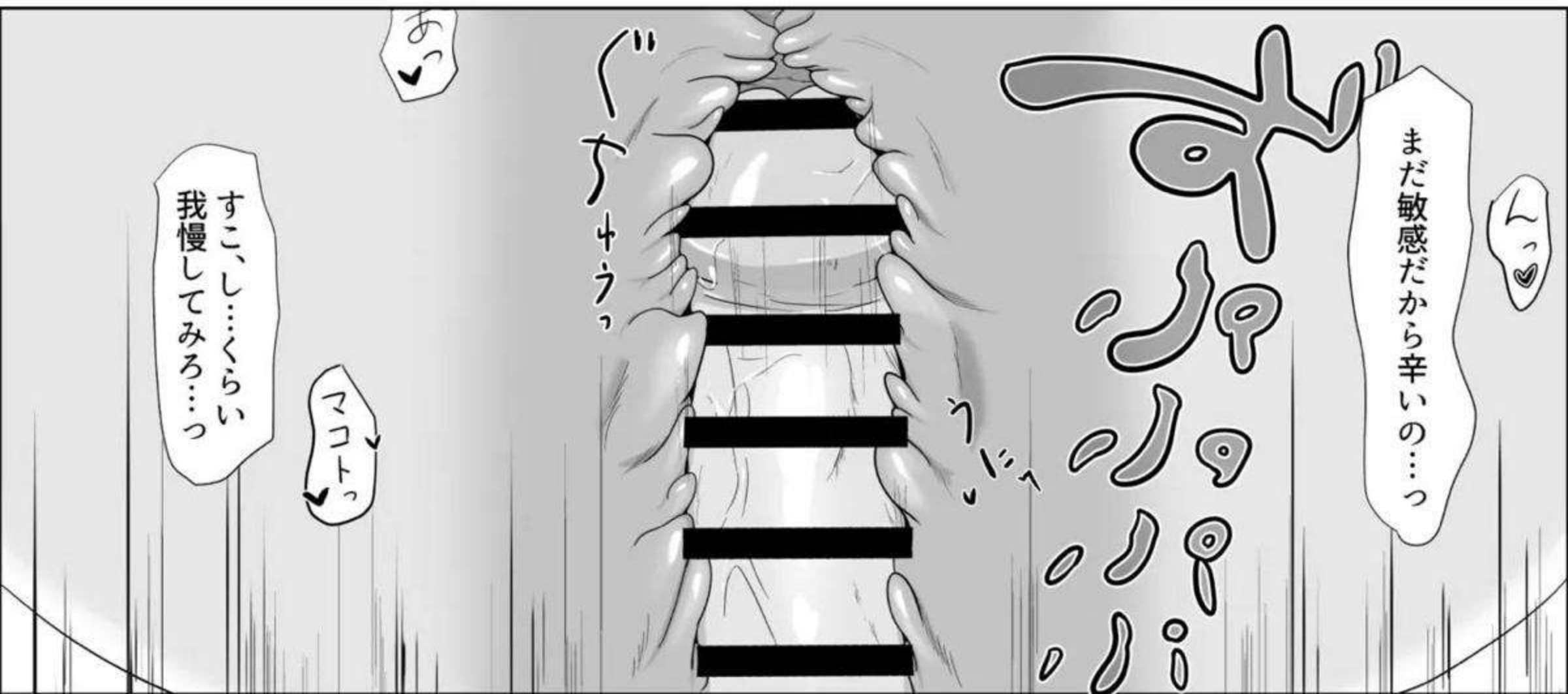
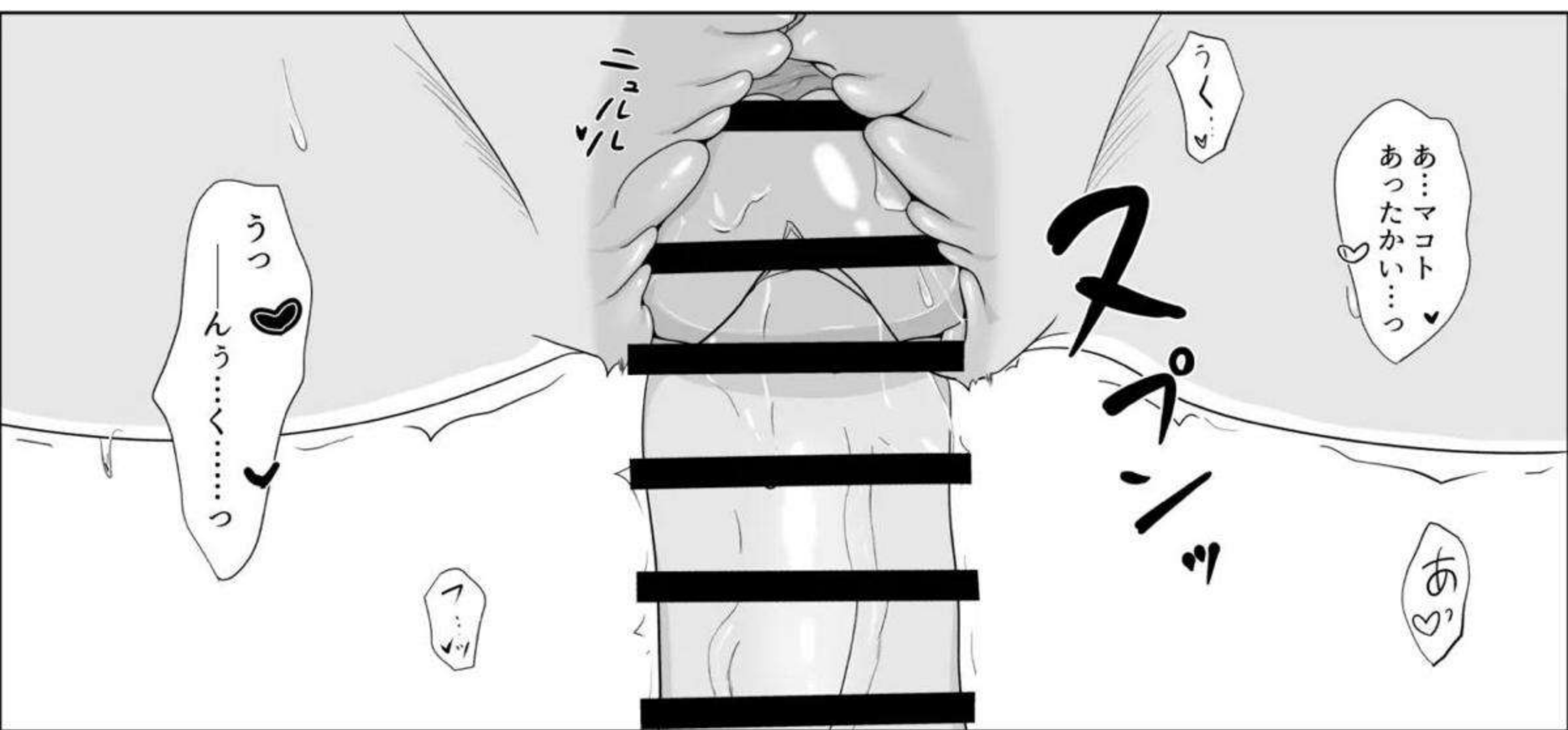
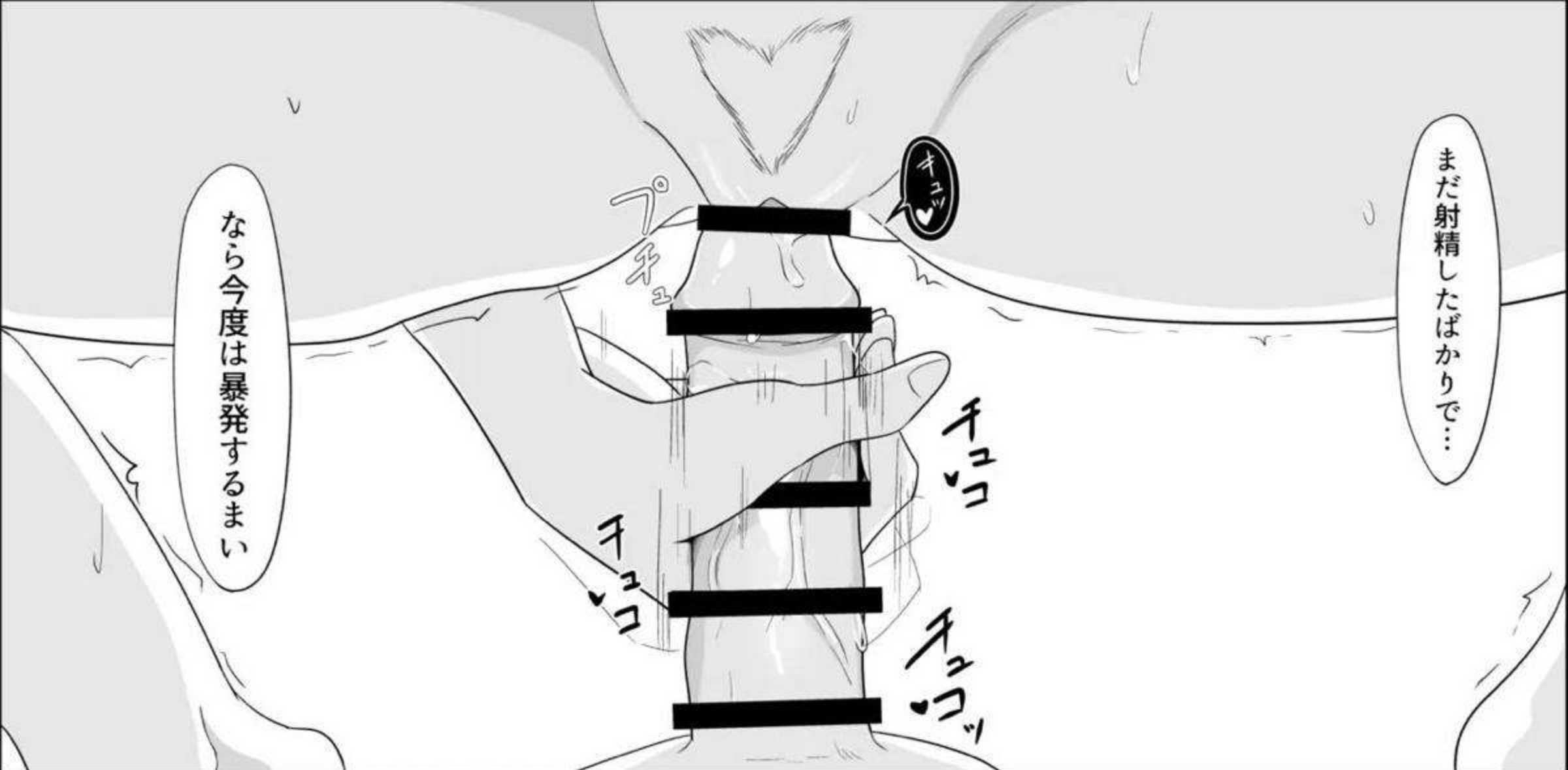


私を怒らせたな
ヒナよ……!

半端な行為を
しておって……!

チユル
クル

ム……?

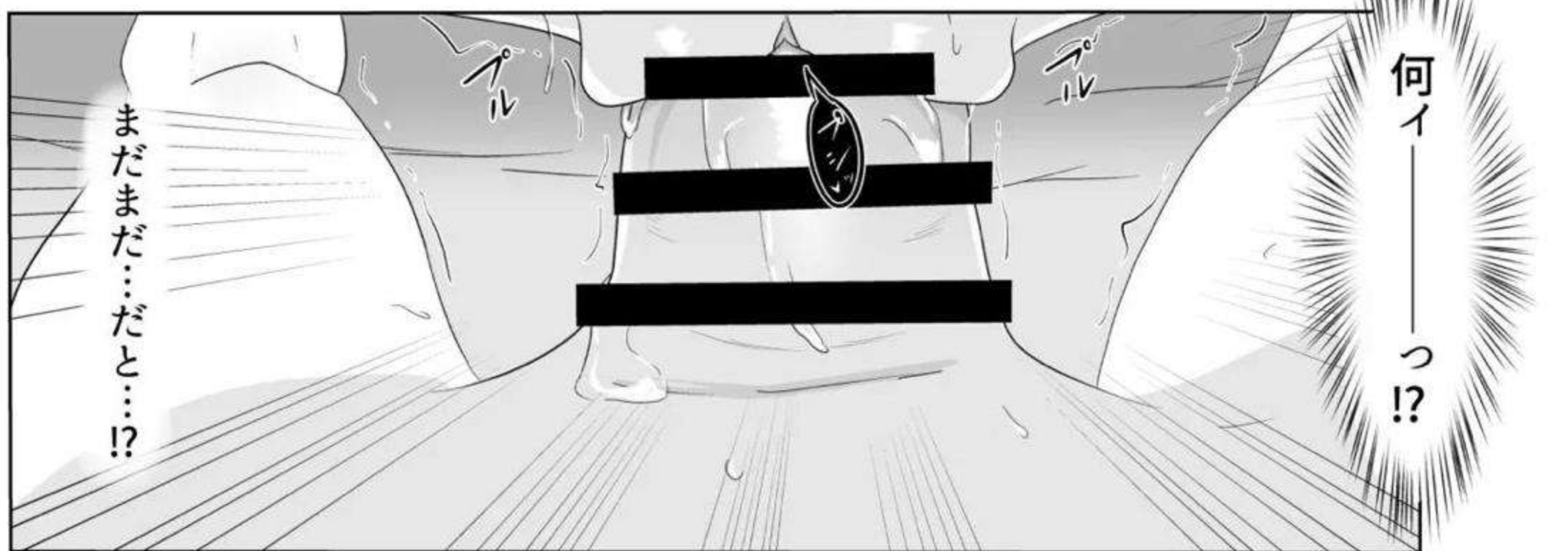




しかしこれで全部……っ!?

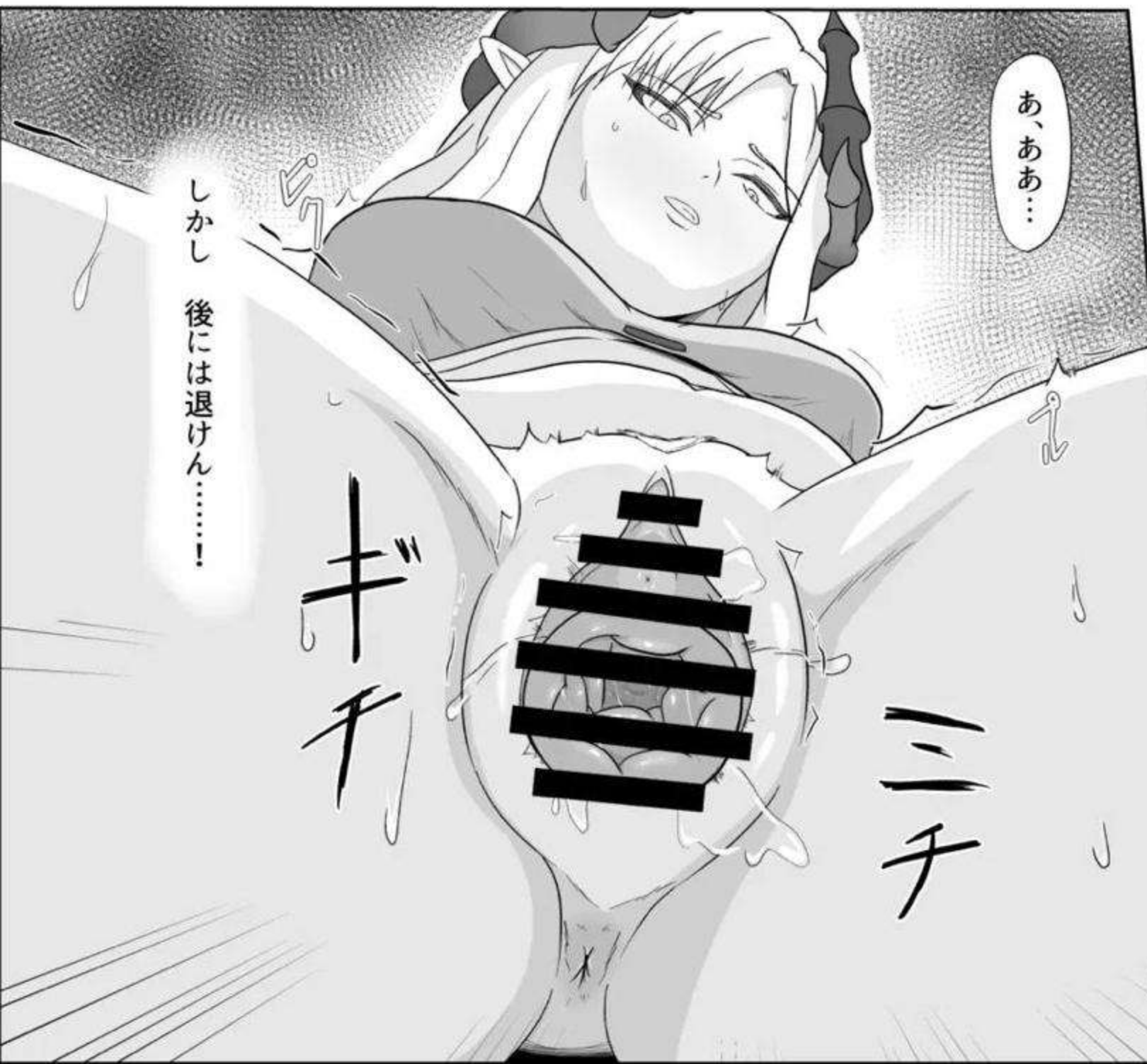


流石に体重がかかると
キツイな……!



何イ——っ!?

まだまだ……だと……!?



あ、ああ……

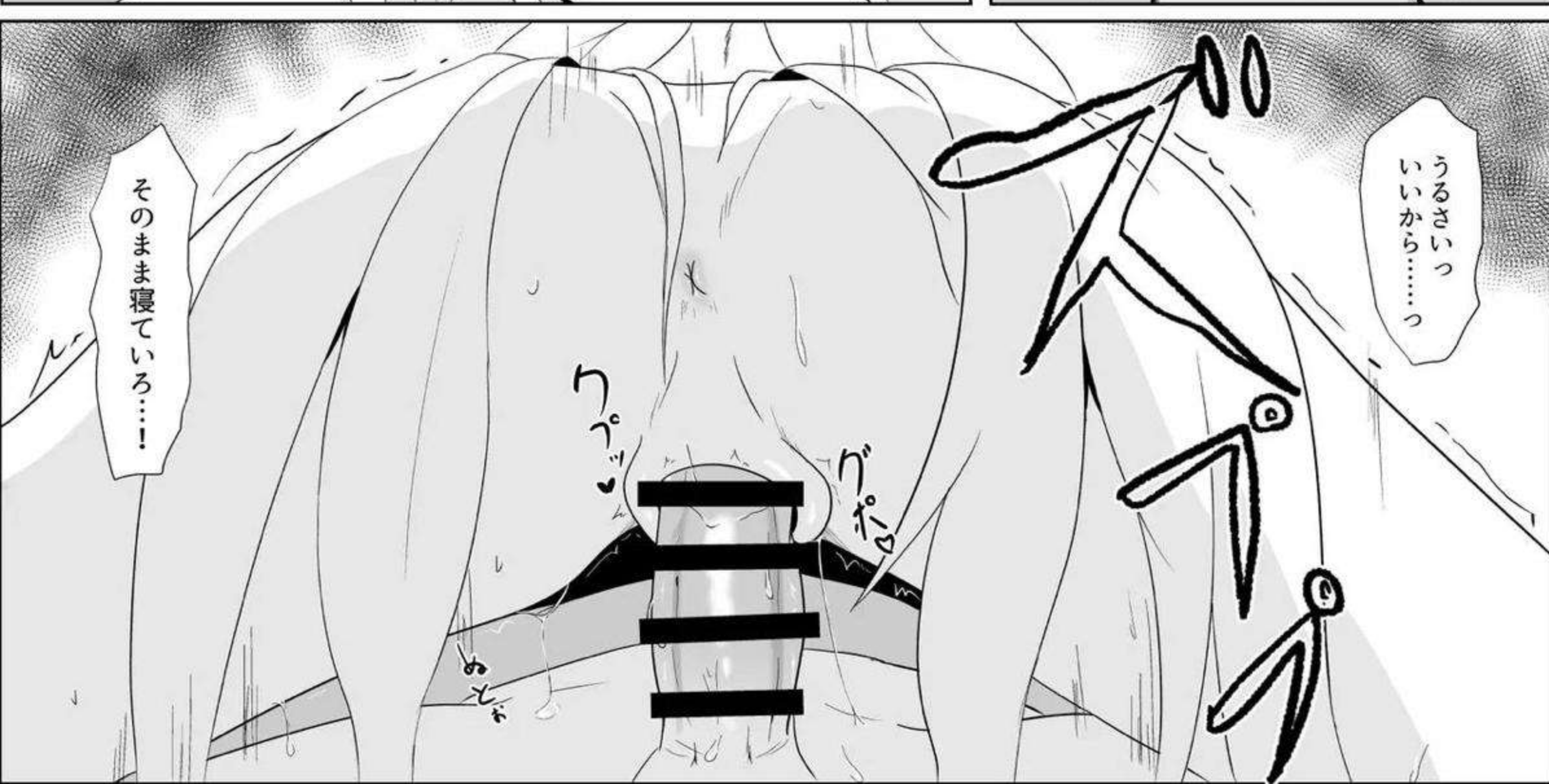
しかし 後には退けん……!!

ギ
チ

ニ
チ



マコト 大丈夫……?



こ、これはマズい
長くはもちそうにないぞ…

耐えろ羽沼マコト…ッ！

大丈夫だ…ゆっくり…
このまま……

マコト…すごい辛そう…

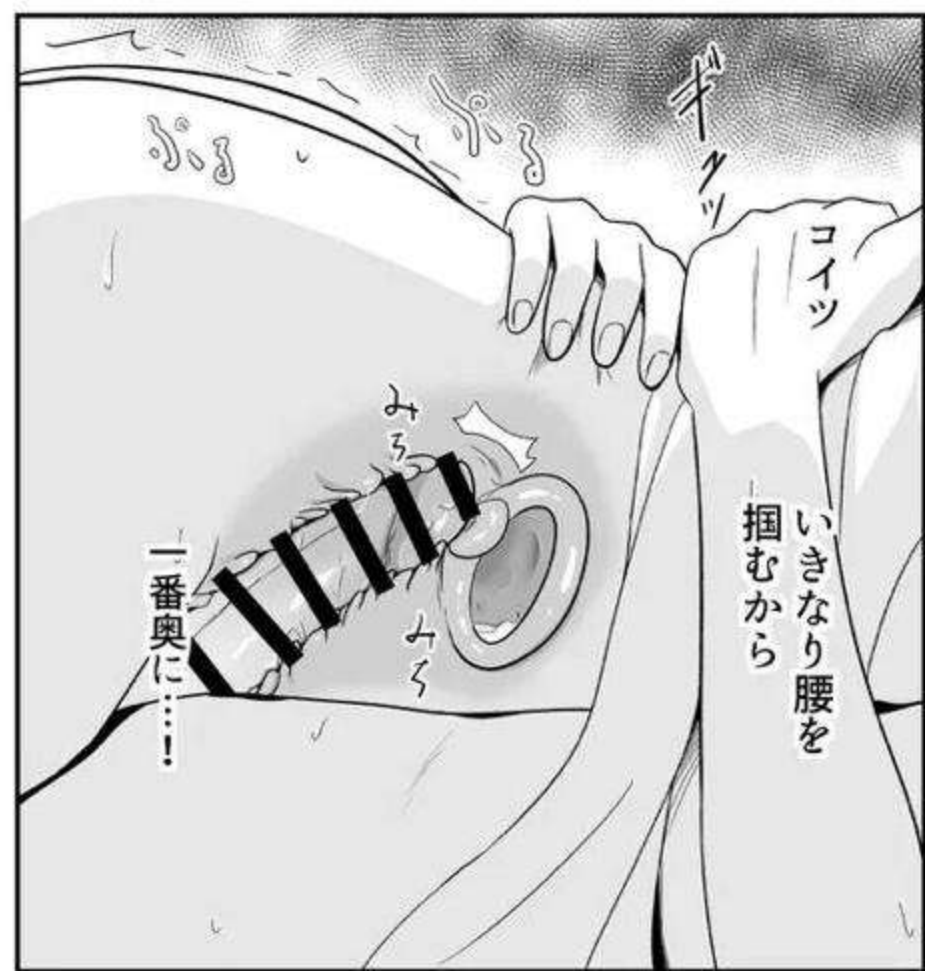
イキそうになっても
呼吸を整えてから
下腹部の波を引かせて

動きづらいなら
手伝うわ

イカないよう…

おれ

キ









口下手なヒナの
こんなむき出しの欲望

付き合えるのが
私しかない
だとしても

まずいこのままだと…！

もう堪えが利かん…！





マコト
本当に大丈夫…？
すごい震えてるわ

ブル

ブル

私
やりすぎてたら…

何を…
言っている…ッ！



マコト様を
侮るんじゃない…っ

これくらい…っ

ッ

ふっ
♡

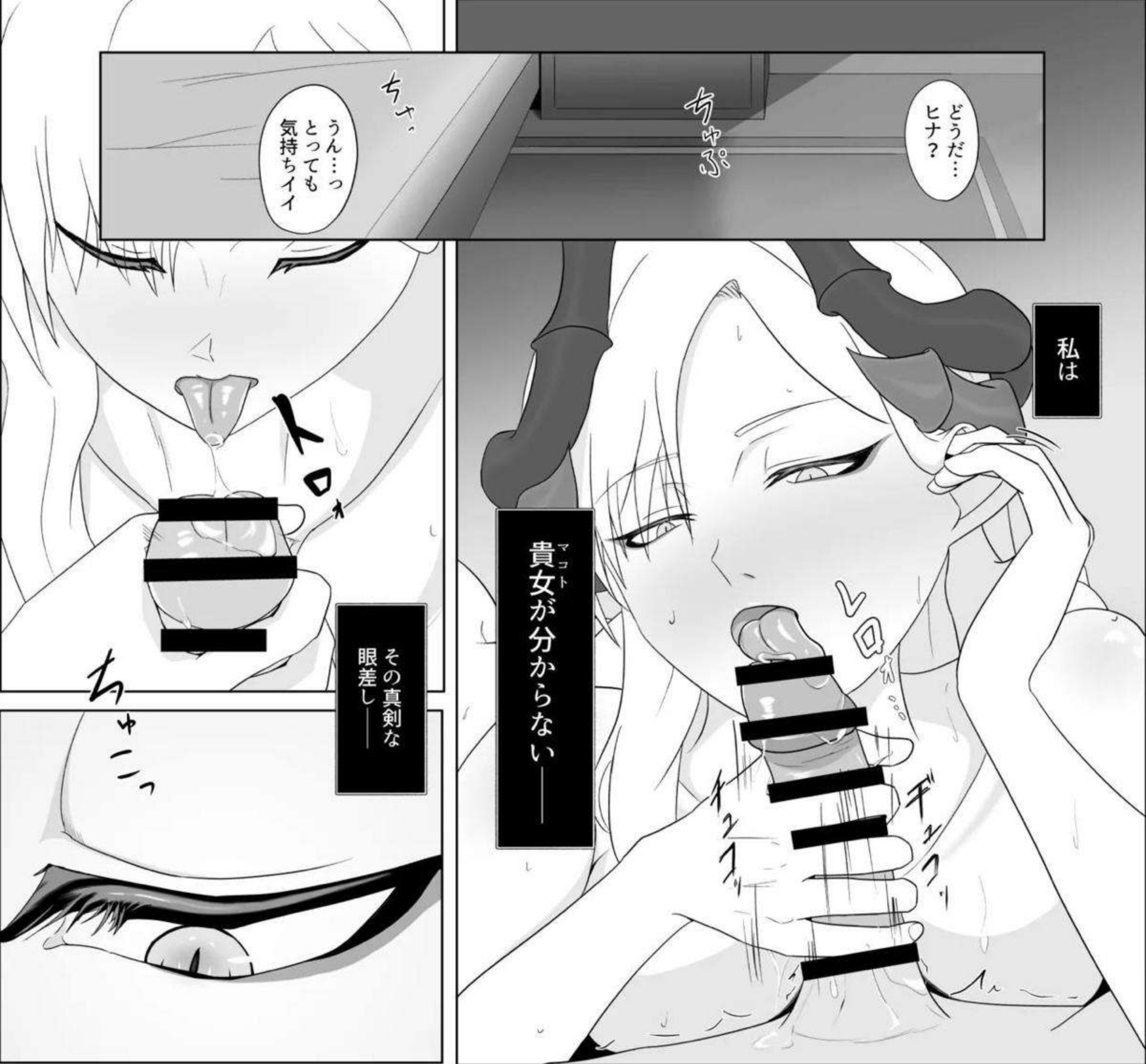


そう…

……そうね

お前は

自分のことだけ
精一杯やっている…！





いつもの悪戯
をする貴女も

訳の分からないこと
ばかり言って
すごく面倒くさい



でもそれ以上に

そうじゃない時

貴女が真剣で
私を困らせない時程――



貴女は無口になって
もっと分からなくなる

隣に立っていても
遠くにいるみたい

頼りになって
尊敬も出来て

私のワガママも聞いてくれる
くらい優しいのに――

マコトのおっぱい……
すべすべで気持ちいい……

出そうになったら
いつでも言うんだぞ……!

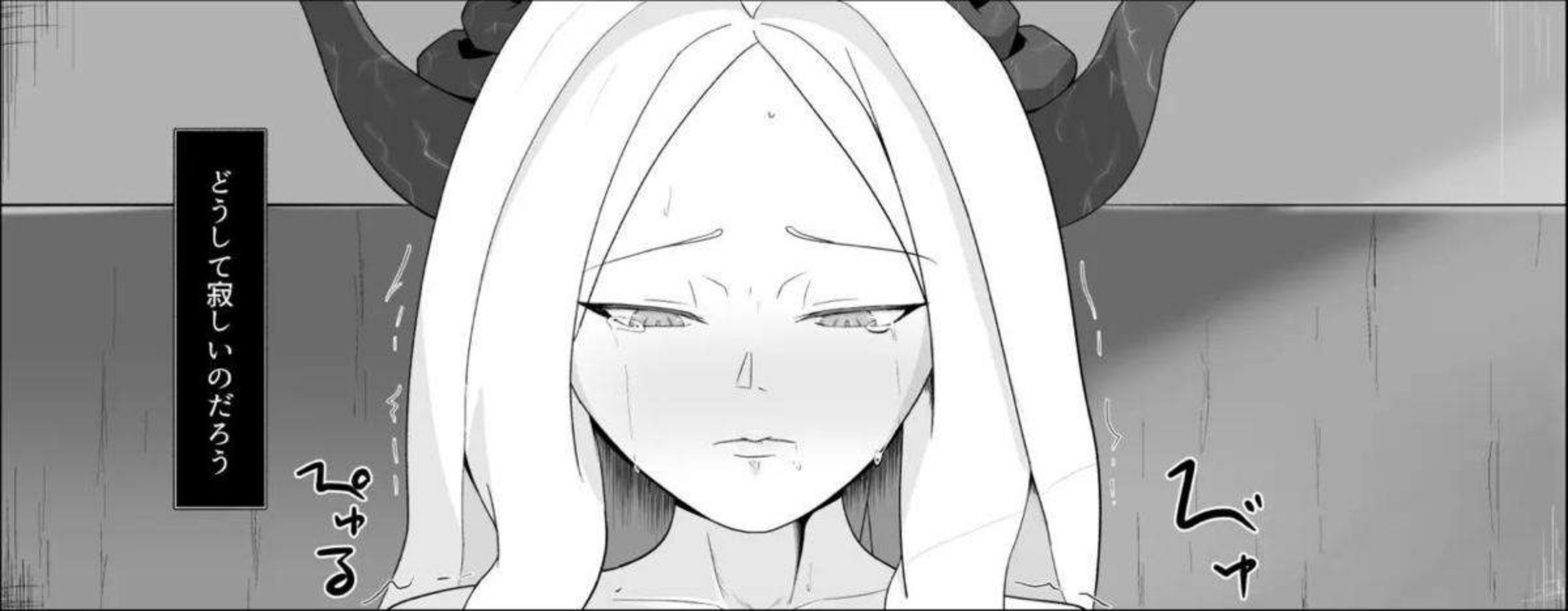
もう射精る…ッ

口の中に射精させて！

これ以上ないくらい
近くにいるのに

それなのにどうして――

まちゃん♡



どうして寂しいのだろう

ぽろ

しゃ



もう下半身の
感覚が…

じー

じー

だがヒナを
このままにして
おくわけには…



ねえマコト

……



まだこんなに
たくさん…濃いのか…

ツグ

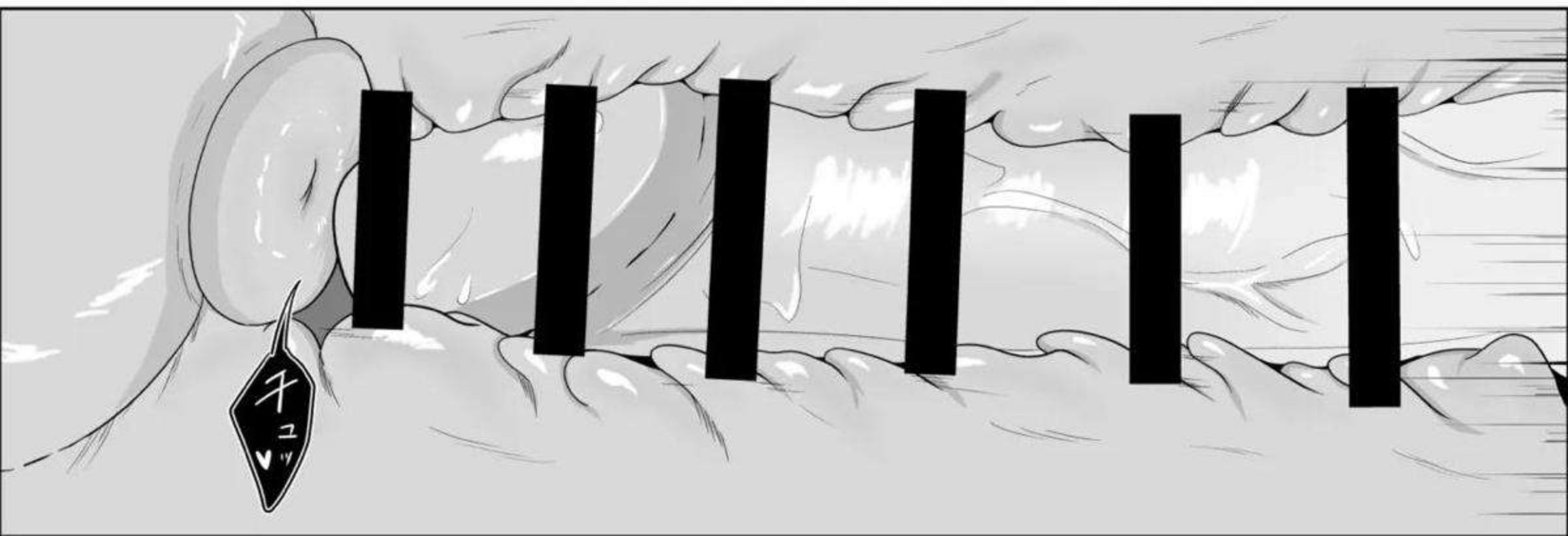
くっ……
喉にへばりついて
飲めない……!



そろそろ終わり
にするから…

最後にもう一回
前からシていい…?

ぽとっ
♡





おかしい...

んぐ...

どうしてイカない...ッ!?

どれくらい経った...?



ねちっこくて仕方がない...!!



さっきまで三擦り半だったくせに...

なぜ急に奥に擦りつけるような腰振りを



どういうつもりだ
ヒナ……!

マコト……



マコト
顔が苦しそうね

私との行為は
気持ちよくない?

本当にイヤなら
そうと言って?

遺産のせいにしないと
共に居られないとしても



今日のこの夜だけでも
近くにいて良かったって

どうすれば貴女は
思ってくれる?

私だけが貴女を求めて
勝手に満足するなんて

もう腹に力が
込められない

このままでは
深いのが来る…っ！

イツ……!!

……ッ!?
おいヒナ
何を

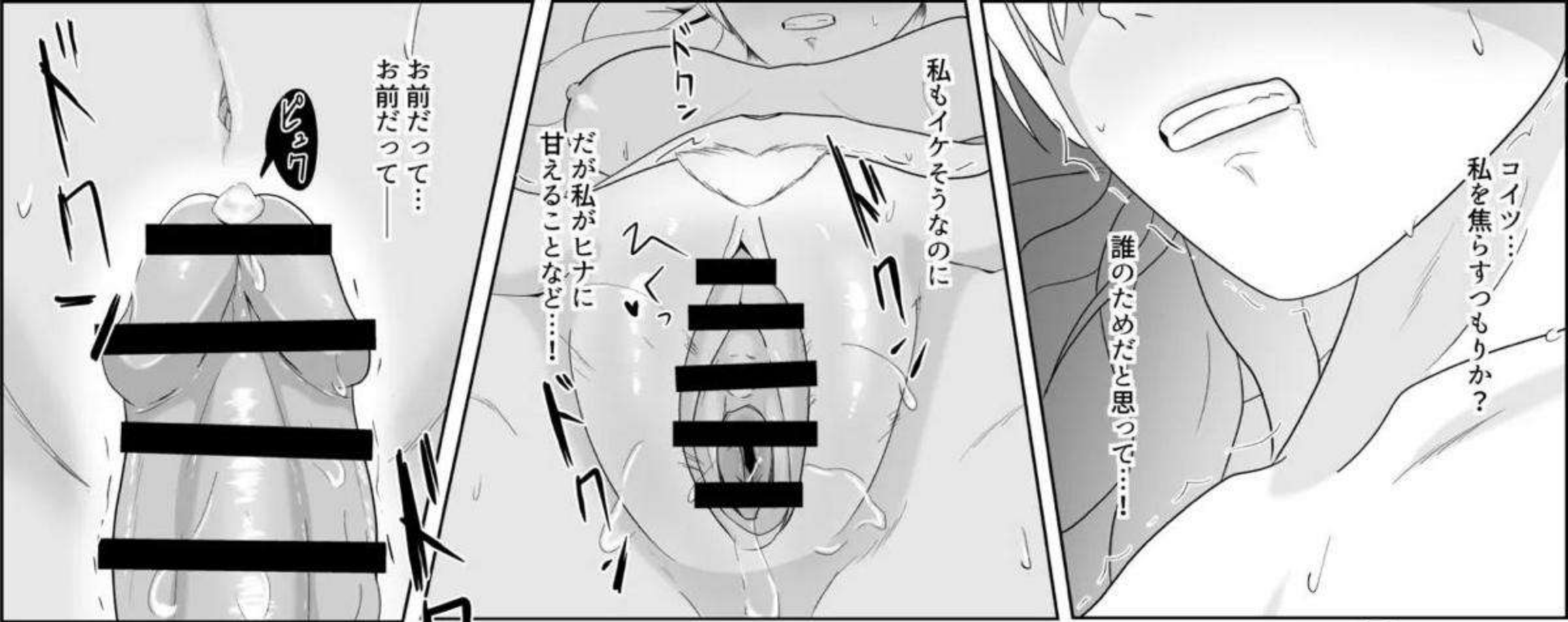
—そんな…
そんな寂しいのはイヤ

—マコト

私は貴女の

ホント
きもち
真の言葉が聞きたいの

どうして欲しいのか
言ってみなさい…?



コイツ… 私を焦らすつもりか？

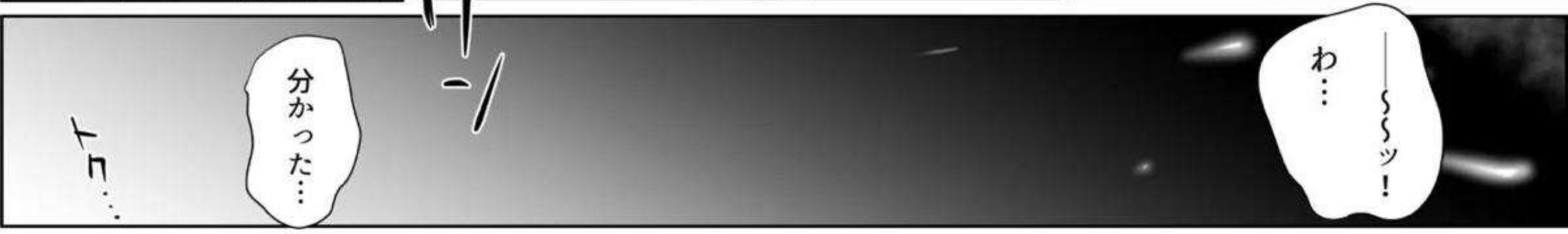
誰のためだと思って…！

私もイケそうなのに

だが私がヒナに
甘えることなど…！

お前だって…
お前だって…

ズン



わ…

…ッ！

分かった…



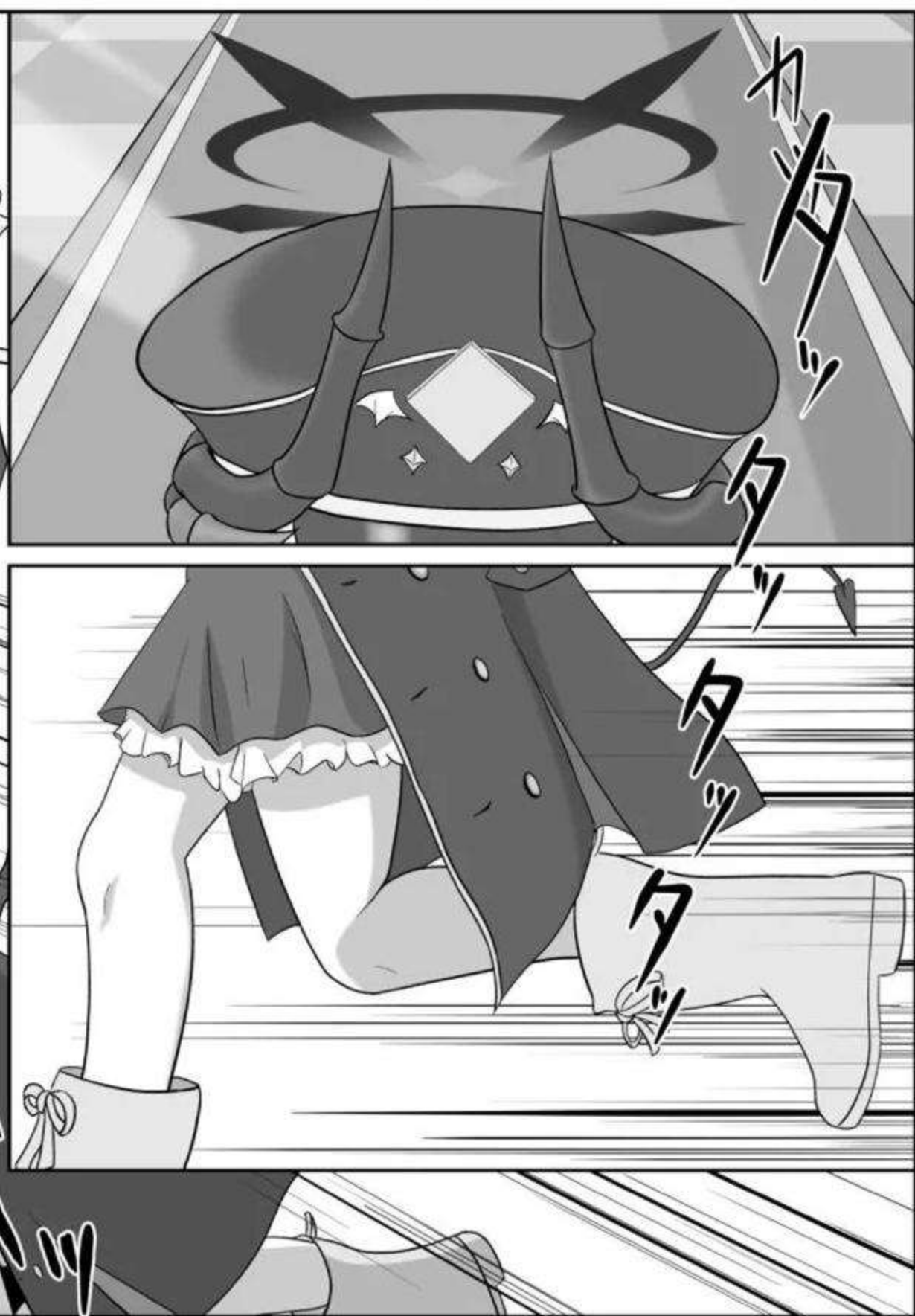
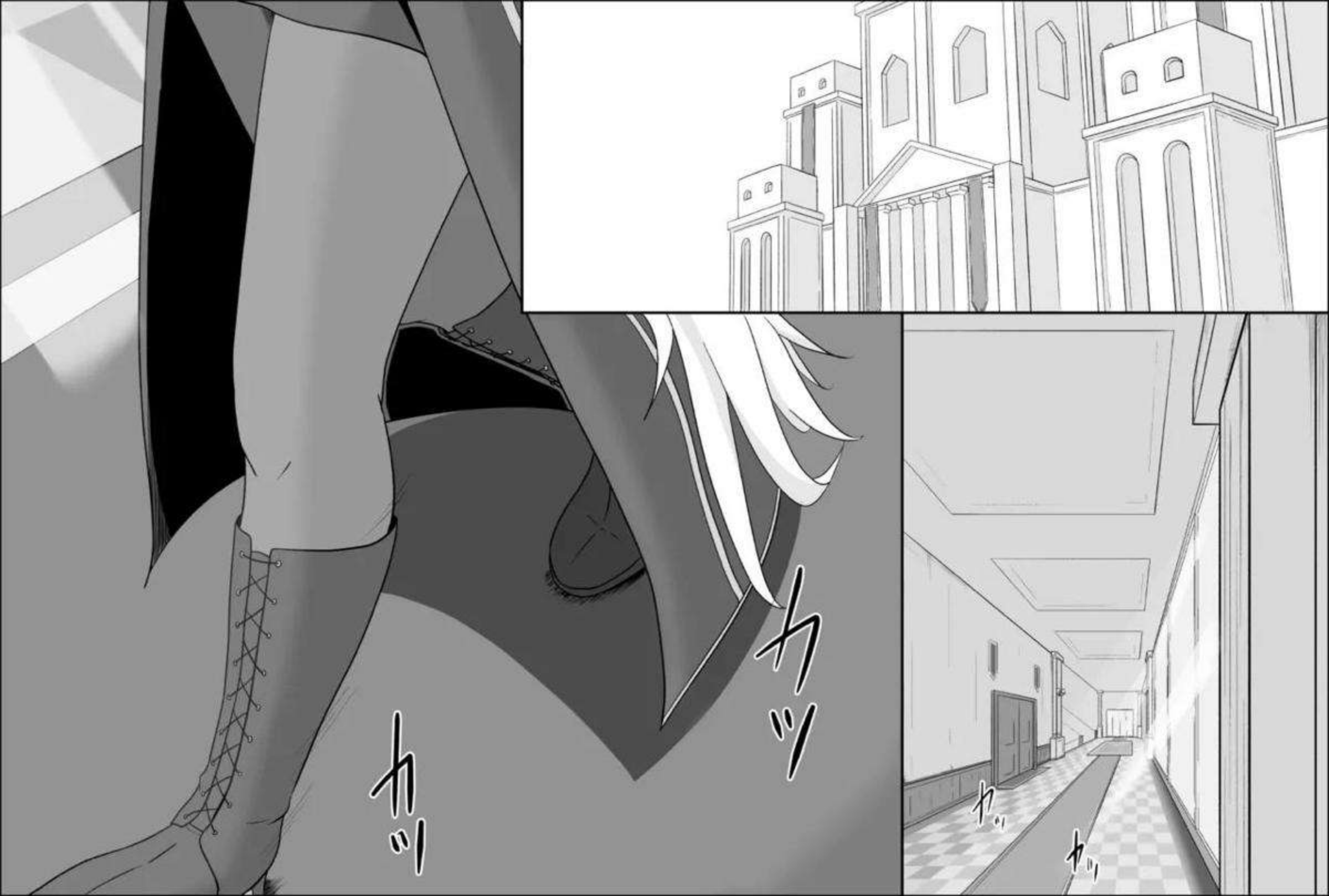
このマコト様を絶頂させる
機会をくれてやる…

奥まで挿入れて
射精してもいいぞ…！

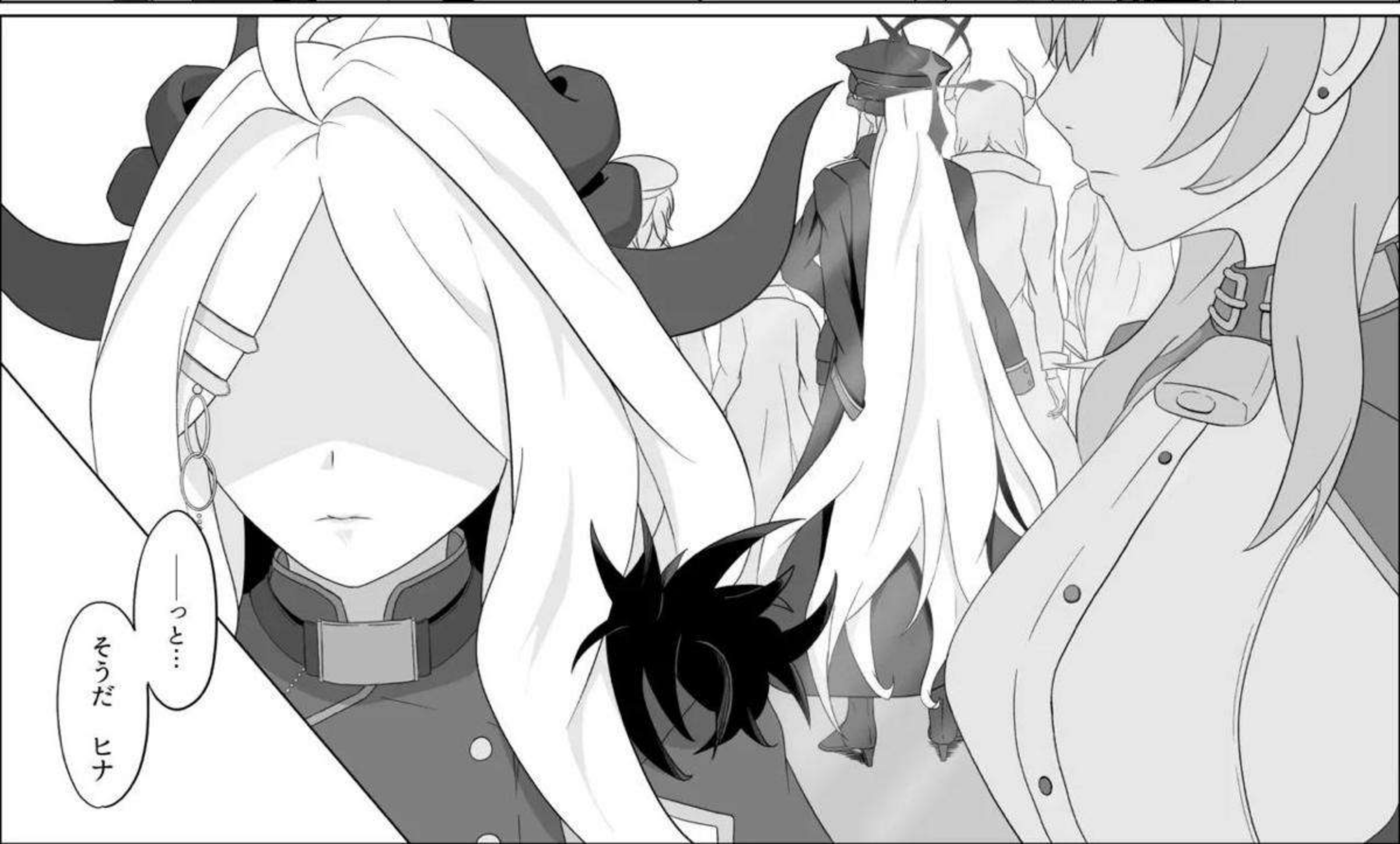
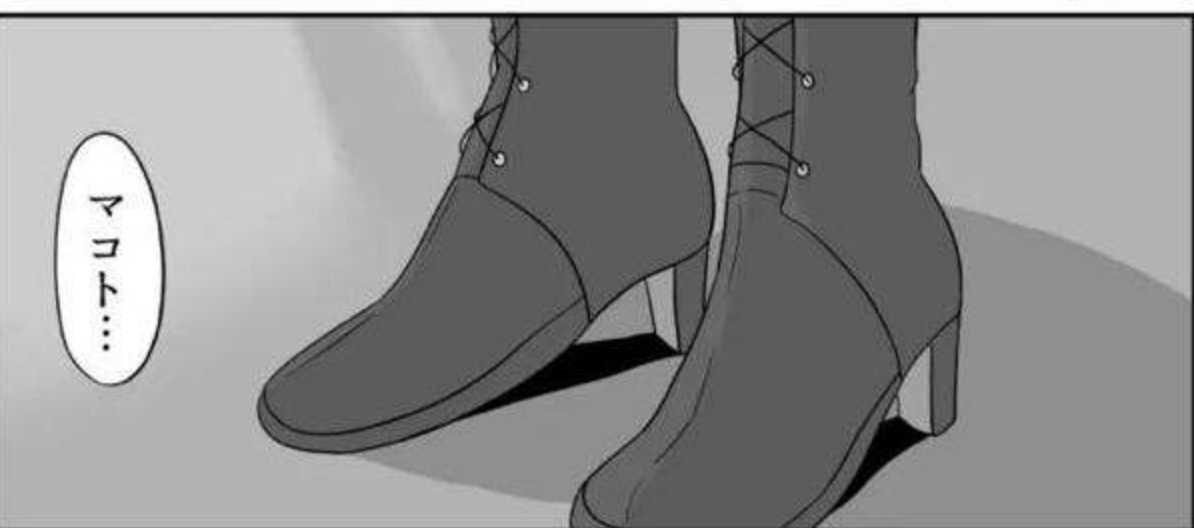
…仕方ないひと











今日もイヤというほど
仕事を振ってやるからな

そのつもりでいろ！

今日も大変な一日に
なりそうですね

……委員長？

本当に…仕方ないひと



Jin

あとがき

初めての版權モノです。凡々亭H楽膳と申します。コミケ便乗です。
駆け出しの拙作ですがお手に取っていただきありがとうございます。

甘え下手なつよつよ妹系ヒナちゃん×真剣だと無口なよわよわ姉系マコト様
って感じで妄想したヒナマコ本でした。

公式のメインストーリー・ゲヘナ編が描かれるまでの
賞味期限付き解釈かもしれませんが、先生を挟むとしっくりこなかったので
雷帝のせいにしてヒナちゃんに生やしました。
生やすな派の先生におかれましてはこの場で謝罪させていただきます。

「マコト」に「真言」と当て字をして、本当の気持ちを中々明かせない二人の
関係を上手いこと言ってやったとドヤ顔して後から気づきました…

なんだか仏教の本みたいなタイトルになってしまいました。
宗教要素は皆無です。



発行日：2026/8/13
サークル：凡々亭
発行者：凡々亭H楽膳

連絡先：boinbointei@gmail.com

※無断転載・複製等を禁じます※